

善光寺まつり

七月三日
午後一時厳修

善光寺如来は、「一光三尊阿弥陀如来（いっこうさんぞんあみだにょらい）」と呼ばれる形式の仏様です。阿弥陀如来を中央に、向かって右に観音菩薩、左に勢至菩薩を配し、三尊が一つの大きな光背を共有していることから「一光三尊」と呼ばれます。

運海寺の善光寺如来は、大正二年（一九一三年）に二世善因（ぜんげい）上人によってお迎えされました。以来、善光寺まつりを厳修し、今日まで大切に祀りしております。

北海道において善光寺信仰を広めることを目的としてお迎えし、当時、気軽に善光寺参りにいくことができなかった中で、北海道にいなながら善光寺とご縁を結ぶことを目的とした法要であろうかと思えます。

数ある法要の中でも、「善光寺まつり」は運海寺で唯一「まつり」の名を冠する法要でございます。「彼岸会」

や「御忌会」といった法要とはどこか趣を異にし、親しみや賑わいを感じさせる響きがあります。

当時の人々がどのような願いを込めて善光寺如来をお迎えし、このお祭りを続けてきたのか。その思いに心を馳せながら、今年も善光寺祭りを厳修したいと思えます。

本年は、七月三日午後一時より、ご法話を申し上げ、その後、善光寺まつり法要を厳修いたします。

善光寺まつりでは、例年、お戒名による回向を行っております。

二尺の塔婆にお戒名をお書きし、ご先祖さまや故人のご供養をいたします。

塔婆書きの都合上、お申し込みは前日までをお願いいたします。お寺へお越しの際は、お申し込みのほか、お檀家の皆様はお電話でお申し込みいただくことも可能です。

毎朝 7 時より朝のおつとめを配信中

運海寺だより

第 5 号 2026 年 6 月

NEXUS for Better Tomorrow.

JODO SHU
UNKAIJI

Established in 1888.
A humble temple in
Takikawa, Hokkaido.
Cherishing every
connection.



運海寺公式ホームページはこちらから
YouTube・Instagramにて行事や境内の様子を発信中

お電話でお申し込みの場合、冥加料を別途お届けいただくか、当日お納めください。また、ご自宅にお伺いした際にお申し込みいただいても構いません。お申し込みの際には、

・お施主様のお名前

・ご供養の対象となる方のお戒名

をお知らせください。

冥加料は塔婆一本につき一〇〇〇円よりお受けいたします。

なお、当日のお申し込みにつきましては、塔婆の準備ができませんので、お戒名による回向はお受けできません。通常の回向としてご供養申し上げますので、あらかじめご了承ください。

朝勤行・別時念仏会

先月より、主に副住職が中心となつて、いくつかの新たな取り組みを始めたので、ご紹介いたします。

【朝勤行】

毎日、午前七時より朝勤行をお勤めしております。

一日の始まりに、仏さまに手を合わ

せるひとときをご一緒しませんか。

【別時念仏会】

毎週日曜日、午後七時より別時念仏会をお勤めしております。お念仏を称える為、特別に時間を設ける趣旨の法要です。

週に一度、落ち着いた空間でお念仏を称える新習慣を取り入れませんか。

なお、右記の法要は、運海寺公式YouTubeにて同時配信しております。

ご自宅にいながら法要の様子をご覧ください。お寺までお越しになることが難しい方も、どうぞご無理のない範囲でご参加ください。



安眠五年・・・？

先日、朝勤行にお参りくださった方から、「『安眠五年』って、どういう意味ですか？」というご質問をいただいたことがあります。

一瞬、「安眠五年……？」と考えましたが、すぐに、きつと「哀愍護念（あいみんごねん）」のことをお尋ねになっているのだらうと思ひ至りました。

そこで、

「法要の最後、お十念の前にお唱えしている『如来大慈悲 哀愍護念』のことです。ね？」

と確認したところ、その通りでした。

確かに「哀愍護念」という言葉だけを耳で聞けば、「安眠五年」と聞こえても不思議ではありません。法要の後に少しお話をさせていただいた際、結びに

「では、共々にお十念をお称えいたしましょう」

と申し上げた後、

「如来大慈悲 哀愍護念 同称十念」

とお唱えすることがあります。

「哀愍」とは、あわれみみの心を抱くこと、慈しむことを意味します。

また、「護念」とは、無事に仏道を歩むことができるよう、その者を見守り、心をかけ、守り育てることを意味します。

すなわち、「如来大慈悲 哀愍護念」とは、

「阿弥陀如来よ、その大なる慈悲をもって私たちを慈しみ、仏道を歩むことができないよう、どうかお見守りください」という願いと感謝の心を表した言葉と受け取ることができます。

そして続く「同称十念」は、「ともにお十念をお称えいたしましょう」という意味です。

聞き馴染みのない言葉ですが、その意味はとても温かく、「阿弥陀さまに見守られながら、共にお念仏を申しましよう」という呼びかけなのです。

そして、阿弥陀如来は、今まさに、我々のことを見守ってくださいます。

どうぞ、「同称十念」と申し上げた

際は、声を合わせてお十念をお称えいただければ幸いに存じます。

副住職より

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

先月はゴールデンウィークがございました。旅行や帰省をされた方、あるいはご家族やご友人など、普段なかなか会うことのできない方々と再会された方もいらっしゃると思います。

さて、私はと申しますと、特に遠出をすることもなく、普段と変わらずお寺で過ごしております。

そのためか、慌ただしい日常から少し離れて、自分自身のことや、お寺のこれからについて考える時間を持つことができました。

とりわけ、運海寺の副住職という立場について改めて見つめ直す、よい機会になったように感じております。

副住職として、少しでも皆様にとって身近なお寺であるよう、さまざまに取り組みを提案しながら、お寺の活動に携わっております。

また、副住職という立場は、住職のもとで比較的自由に動くことができる立場でもあります。そのため、各種研修会への参加や、ご縁をいただいた寺院を訪ねるなど、積極的に学びの機会を求め、自己研鑽に努めるべき時期であると感じております。

その中で得た知識や経験を、お寺の活動や法話、皆様とのご縁の中に少しでも生かしていくことができれば幸いです。

五月後半には、二日間の日程で雅楽の研修会に参加してまいりました。

雅楽には「三管（さんかん）」と呼ばれる三つの主要な楽器があり、箏（ひちりき）・龍笛（りゅうてき）・鳳笙（ほうしょう）がそれにあたります。私はその中で鳳笙を担当しております。

まだまだ皆様にお聞かせできるような腕前ではございませんが、少しずつ研鑽を積み重ねております。いずれ法要の中でお披露目できる日が来ることを目標に、これからも励んでまいります。

お聞き苦しい演奏をお聞かせするこ
とのないよう精進してまいりますの
で、その日を楽しみにお待ちしております
ましたら幸いです。

また、境内の草木も勢いよく育つ季
節となりました。さまざまな花々が咲
き、参詣の皆様のお目を楽しませてく
れています。

その一方で、草木は手入れをしなけ
ればどんどん茂り、庭のあちこちが草
に覆われてしまいます。美しい景観を
保ち、皆様に気持ちよくお参りいた
だくためには、定期的な手入れが欠か
せません。

運海寺では、境内の庭木や草花の管
理を専門業者に委託せず、寺内で行
っております。

そのため、できることには限りがあ
り、一度にすべてを整えることはでき
ませんが、少しずつ手を加えながら、
皆様に親しんでいただける境内づく
りに努めております。

お参りの際には、ぜひ季節ごとに移
り変わる境内の草花にも目を向けて
いただければ幸いです。

今後のお知らせ

6月6日(土)

明照喫茶 | 13:00 ~ 16:00

7月3日(金)

善光寺まつり | 13:00

7月14日(火)

明照喫茶 | 13:00 ~ 16:00

各種行事は、都合により日程を変更する場合や中止する場合がございます。お手数ですが、公式ホームページやSNSをご確認いただくか、お電話にてお尋ねください。

境内の景色より

庭の紫陽花(アジサイ)のつぼみの写真です。葉を精一杯伸ばし、花を咲かせる準備をしております。六月末ごろに見頃を迎えます。善光寺まつりには、綺麗な花が皆様を迎えてくれることでしょう。



明照婦人会

めいしょうふじんかい
明照婦人会は、

運海寺檀信徒女性
で構成されており
ます。写経や、お
寺のお掃除や法要のお供物作りなど
を中心に活動しております。

不定期で温泉旅行や食事会なども
行なっております。単発の参加も構
いません。ご興味ある方は寺務所ま
でご連絡ください。



明照喫茶

めいしょうきつさ
毎月十四日

午後一時~四時

随時出入り自由

本堂を開放し、お
飲み物とお菓子を
ご用意しております。

す。どなたでもお越しください。ご
予約は不要です。

※六月は、六日に開催いたします。

